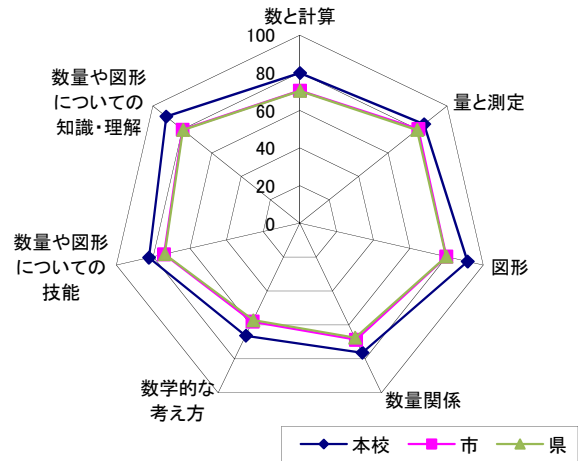


宇都宮市立海道小学校 第4学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	79.9	70.5	70.3
	量と測定	84.4	80.4	79.6
	図形	91.4	79.8	79.7
	数量関係	76.3	68.7	67.5
観点	数学的な考え方	66.3	58.0	57.2
	数量や図形についての技能	82.3	74.1	73.7
	数量や図形についての知識・理解	90.9	79.9	79.5



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	平均正答率は、県と比べて9.4ポイント高い。 ○たし算ひき算の問題、かけ算わり算の問題、大きい数・小数・分数の問題がよくできている。朝の学習時のプリント学習や宿題、ドリル等で繰り返し指導してきた成果と考えられる。	・2つの小数を不等号で表す問題を授業で取り上げ、不等号の意味や使い方への理解を深めるようにする。
量と測定	平均正答率は、県と比べて4.8ポイント高い。 ○時間と重さの単位の換算の問題や、だいたい重さを予想する問題がよくできている。宿題で復習を行ったことや実際の重さを体得させた成果と考えられる。	・学習したことをプリント等で宿題に出し、定着を図ることは今後も行っていく。 ・時計を見ながら時刻を考えさせたり台ばかりを使って重さを量ったりすることを授業で行い、計器の読み方の習熟を図る。 ・他教科や学校生活の中で示されている棒グラフを活用し、読み方や書き方を理解させる。
図形	平均正答率は、県と比べて11.7ポイント高い。 ○円の直径や半径の問題、二等辺三角形の性質の問題、正三角形を書く問題がよくできている。習熟度別学習や個別指導を行い、一人一人に応じた指導を行ってきた成果と考えられる。	・これまでと同様に習熟度別学習や個別指導を継続して行う。 ・デジタル教科書や実物投影機を活用し、図形のかき方や性質等の理解を深めるようにする。
数量関係	平均正答率は、県と比べて8.8ポイント高い。 ○2つのコースの時刻と代金の表から答えを導く問題やわり算の求め方を図を使って説明する問題がよくできていた。問題解決学習として授業で児童に考えさせてきた成果と考えられる。 ●□を使った式の問題を考えることについて課題が見られる。	・今後も授業に課題解決学習を取り入れ、児童に解決法を根拠を明らかにして説明させることを行う。 ・式から問題を考える問題やあまりのあるわり算から正しい答えを説明する問題に対しては、授業でこれらの問題を取り上げ、児童が互いに話し合いながら解決していく指導を行うことで理解させていく。